

宮古湾の津波防災対策に係る住民説明会 を開催しました！

河川課

平成24年4月15日に、宮古湾の津波対策、特に閉伊川における水門整備について、宮古市議会議員、宮古市民を対象とした説明会を開催しました。

今回の説明会は、宮古市議会から知事に対して提出された意見書を受けて開催したもので、岩手大学工学部堺教授による津波防災に関する講演をいただいた後、県から、宮古湾における津波防災対策について説明を行いました。

堺教授からは、自然災害への備えとして、**ソフト対策が重要**であることや、**設計外力を超える自然現象は必ず発生する**という認識が重要であること等についてご講演いただきました。

また、東北地方太平洋沖地震津波に対する既存の海岸保全施設の効果については、田老漁港海岸の**防潮堤**を例に、津波の**到達時間を遅らせる効果があった**ことや、**最大浸水深を低減させる効果があった**ことなど、シミュレーションによる解析を基とした事例等が紹介されました。



岩手大学堺教授による講演

宮古湾における海岸堤防の高さ決定の根拠、津軽石川水門の効果検証結果及び閉伊川の津波対策の検討結果等について説明を行いました。

特に閉伊川水門について、宮古市議会議員や市民からの質問がありましたが、**市民から水門整備に対する反対意見は特に無く、水門方式とする県の説明について一定の理解が得られました。**

今後は、地区毎に事業計画を住民に説明するとともに地元漁協など関係機関に説明しながら調査及び設計を進めていくこととしています。



閉伊川水門に対して質問をする市民参加者

開催概要

- 名称 宮古湾の津波防災対策に係る住民説明会
- 日時 平成24年4月15日 13:30～16:30
- 場所 宮古市立宮古小学校 体育館
- 参加者数 宮古市議会議員、市民等約240名
- 内容 講演「津波防災について」講師 堺茂樹岩手大学工学部教授
宮古湾の津波防災対策（閉伊川水門）について（岩手県から説明）